

これまでのあゆみ

- 平成18年 1月 紀美野町誕生
- 8月 定住を支援する会発足
- 19年 4月 まちづくり推進協議会発足
- 4月 シルバー人材センター設立
- 4月 国保野上厚生総合病院附属看護専門学校開校
- 20年 3月 防災行政無線配備事業
- 22年 3月 町内全域で防災行政無線が放送開始
- 地上デジタルテレビ放送難視聴対策
- ギャップファイラー方式を用いて町内全域を整備
- 4月 きみのこども園完成
- 26年 11月 五色台聖苑増設事業完成
- 27年 9月 国道370号野上バイパス工区完成
- 28年 2月 紀美野町全域に光通信網の整備
- 4月 医療費無料化18歳まで拡大
- 30年 1月 小中学校ICT教育開始
- 全小中学校でiPad利用開始
- 令和元年 3月 国道370号桂瀬・松ヶ峯トンネル完成
- 7月 町営住宅新神原団地完成
- 8月 町道平中通り2号線改良事業完成
- 10月 こども園保育料・給食費無償化
- 2年 4月 ここのこども園完成
- 3年 2月 小中学校トイレ洋式化事業完成
- 4月 小中学校給食費無償化
- 7月 みさと天文台 星の動物園リニューアルオープン
- 3年 3月 紀美野町子ども子育て応援宣言
- 4月 子ども家庭支援センター設立
- 9月 ファミリーサポートセンター設立
- 12月 国道370号国吉毛原トンネル完成

議会

紀美野町議会は、選挙により選ばれた12人の議員で構成されています。町の具体的政策を最終決定する「意思決定機関」であり、年4回の定例会と必要に応じて開催される臨時会では、予算や条例の制定・改廃など審議し議決するほか、行財政運営が適正かつ効率的に執行されているかチェックを行っています。

町民の代表として、町の更なる発展と住民福祉の向上のため、「信頼される議会」「開かれた議会」をめざしています。



議会議員 (令和4年12月13日撮影)



執行部 (令和4年12月13日撮影)



二十歳を祝う会



生石高原 山焼き

町の木・花・鳥 (平成19年11月1日制定)



カヤ

当町では、県下の中でもカヤの植栽密度が一番多い地域であり、大きな木も多く見られます。また、カヤの油は凝固点が低く冬の灯明用には欠かせないものとして、江戸時代には高野山へ年貢として納められていました。



さくら

町内にはいろいろな品種のさくらが見られ、学校、社寺仏閣、公共施設に植栽され、町民に愛され親しまれ、歴史的にも深いかわりを持っています。



セグロセキレイ

人里の鳥で、町内全域で見ることができ、水辺や田の周辺で人の近くにいる益鳥として保護されてきました。尾羽を上下にふることから、「しりふり」「おをふり」として親しまれています。



町章

フレッシュ感あふれるブルーと、若葉をイメージしたグリーンは、紀美野町の美しい空と川、そして山の木々の緑を象徴しています。円を基調とした滑らかなシルエットは、住民の調和による優しいふるさとの姿をイメージするとともに、未来へ向けた発展と飛躍への期待が込められています。

(平成18年1月1日制定)



イメージキャラクター きみちょん

山をイメージし、下には川が流れ、頭には生石高原のススキをイメージした毛が3本生えています。手に持っている天文台の星をイメージした「星ステッキ」で「ちよんちよん」としてもらうことで、その人はとても幸せになれる。

(平成24年11月誕生)

人口・世帯数		
総人口	8,098人	男 3,771人
世帯数	4,078世帯	女 4,327人

(令和4年12月31日現在)

冬 春



消防訓練初め式



雨山の桜

秋 夏



野上八幡宮 秋祭り



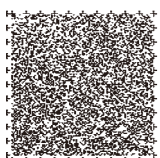
生石高原 山開き



農林商工まつり 柿の市



きみの夏祭り



Council

The Kimino Town Council consists of 12 elected members. It is a "decision-making body" that makes the final decision on specific policies for the town, and, as a representative of the town's citizens, aims to be a "trusted council" and an "open council", geared towards the future development of Kimino and the improvement of our residents' welfare.

